

町制施行50周年を祝い…

# 只見町 協会長杯 ゲートボール大会

時折、雨のばらついていた8月8日、季の郷湯ら里前のコートで只見町協会長杯ゲートボール大会が開かれ、8チーム47名が参加されました。

はじめに齋藤昭夫只見町ゲートボール協会会長よりあいさつがあり、続いて目黒町長が「日頃の練習の成果を発揮され時には熱く興奮されながら楽しくプレーしてください。健康づくりのためにも元気で今後も続けて欲しいと思います。優勝目指し頑張ってください」と祝辞を述べました。その後、目黒町長、鈴木好行只見町体育協会副会長、目黒仁也湯ら里支配人の3名による始球式が行われ、競技がスタートしました。

1チーム5名で熱戦が繰り広げられ、参加者は真剣なまなざしでゲートに狙いを定めボールを打っていました。コートには仲間のプレーを指示する大きな声や笑い声、歓声が響きわたり白熱した試合の連続となりました。表彰式は、むら湯の休憩室で行われ、町制施行50周年の記念大会で見事、優勝杯を手にしたのは「明和チーム」となりました。

最後に懇親会もあり、賑やかに親睦を深められました。



▲大きなゲートに狙いを定め始球式



▲勝利を目指し第一打を放つ選手



▲第1回企画実行委員会であいさつをする目黒町長

8月27日、役場本庁でこの冬の雪まつりの内容を検討する、企画実行委員会が開かれました。雪まつり実行委員会長の目黒町長はあいさつで「社会状況の変化が著しく財政が厳しい中、東北ナンバーワンの雪まつりを維持している。まず現状の課題を整理して、魅力を付け加えて新たな一歩を踏み出してほしい。委員の率直な意見交換をお願いしたい」と述べました。

1回目の会議では、これまでの雪まつりを振りかえり「もつと町民参加型にしてはどうか」「さらにみんなが楽しめるように」など、意見が出されました。企画実行委員会では、10月下旬に予定されている雪まつり実行委員会（全体会）に提案するため、今後3回程度の開催を予定しています。企画実行委員は次の11人の方々です。

## 第38回只見ふるさと雪まつりがスタート 第1回企画実行委員会

### 只見ふるさとの雪まつり ●企画実行委員名簿

団体名	委員氏名
電源開発(株) 田子倉電力所 所長	仲丸 郁夫
只見町旅館業組合組合長	菅家 和人
只見祭好会代表	新国 秀一
Club Wild Fox 代表	五十嵐 博之
只見町商工会青年部代表	目黒 道人
明和地区区長連絡協議会会長	目黒 友美
只見婦人会長	五十嵐 理子
雪ん子市出店者	小沼 信孝
厄男代表	吉津 健
只見町観光 まちづくり協会事務局	目黒 典子
ただみコミュニケーションクラブ 事務局長	平山 康夫

(順不同、敬称略)

『古代人の暮らしを体験』



まほろん出前講座

たいけん かつどうしつ  
**まほろん体験活動室メニュー**  
 ☆平成21年9月～平成21年11月☆

9/8(火)～9/27(日)	★アングイン編みに挑戦しよう ★勾玉・管玉づくり
9/29(火)～10/12(月)	★ガラス玉をつくろう ★勾玉・管玉づくり
10/14(水)～10/25(日)	★火おこしに挑戦しよう(無料) ★勾玉・管玉づくり
10/27(火)～11/6(金)	★獣脚ろうそくづくり ★勾玉・管玉づくり
11/7(土)～8(日)	★ふいごを踏んでみよう ★勾玉・管玉づくり
11/10(火)～11/23(月)	★土器づくり ★勾玉・管玉づくり

《お問い合わせ》まほろん 福島県文化財センター 白河館  
 〒961-0835 福島県白河市白坂一里段86  
 TEL 0248(21)0700/FAX 0248(21)1075  
 URL <http://www.mahoron.fks.ed.jp>



▲暑かったけど、おもしろかった「火おこし」

会津只見考古館を会場に「まほろん(福島県文化財センター白河館)出前講座」が8月18日に行われ、町内小学生と保護者、小学校の先生など約30名が参加しました。

参加者は、まほろんの先生の説明を聞きながら、直接指導を受けたり質問したりして古代の暮らしには欠かせない火おこし、弓矢そして、縄文クッキーづくりなどを体験しました。

この日は日差しが強く真夏の暑さでしたが、汗を拭くのも忘れ本気で火をおこしていました。午前中に作ったクッキーを、おこした火で焼き昼食に食べましたが、おいしいと評判が良く、



▲最後にみんなで記念撮影



▲夢中になった「弓矢体験」

あつという間になくなりまし  
 午後には弓矢を体験し、矢が  
 上手く前に飛ばなかつたりのま  
 で届かないなど、道具を扱う難  
 しさや狩りをする大変さを学ん  
 でいました。

参加者は現代の生活では考え  
 られない貴重な体験をしながら  
 充実した一日を過ごしました。  
 まほろんでは随時、体験活動室  
 を開いています。ぜひ、参加し  
 てみてはいかがでしょうか。

参加者は雨の中、両県から県境に向かって道沿いや駐車スペースに落ちていたゴミを拾い、きれいな景色にふさわしいゴミのない道路にと一生懸命清掃作業を行いました。

作業の後は、田子倉湖の名所「アイヨシの滝」で、交流会が開かれ、両県の更なる連携強化を約束していました。

7月9日、福島県と新潟県の関係団体から64名が参加し、国道252号六十里越雪わり街道清掃活動が行われました。

福島県側は国道252号六十里越雪わり街道を愛する会の会員と、山口土木事務所職員など35名が参加、只見町からは建設業や、商店、旅館、民宿などの経営者が参加しました。また新潟県側から、ルート252と魚沼市を考える会の会員、魚沼地域振興局職員など29名が参加しました。

東北屈指の観光ロードを  
 うつくしく  
**国道252号**  
**「雪わり街道」**  
**清掃ボランティア**



未改良区間の改良と雪対策への取り組みを

県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会総会

7月22日、平成21年度県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会総会が開催されました。会長の目黒町長のあいさつに続き、南会津建設事務所鈴木隆所長が祝辞を述べられました。

今年度事業計画を「未改良区間の改良工事促進・雪崩発生箇所の防雪工事早期整備と除雪計画の整備促進」などと定めて活動を展開することとしました。

次に、山口土木事務所から平成21年度事業概要説明が行われ、荒島・熊倉区間の落石防護柵設置の整備と、それに関連した事業実施の説明がありました。また、夏場でも車のすれ違いができない区間や除雪要望区間を地元区長や町役場担当者などと現地調査を行い、可能なところから整備をしていきたいとの説明がありました。さらに、冬期間交通不能となる小川・一ノ坪間と荒島・熊倉間の早期除雪について、地元区長から強い要望がありました。



▲ 道路改良要望区間(1.3km)



▲ 現地調査をする地元区長ら関係者

只見地区区長連絡会が福島県南会津建設事務所長に要望書を提出



▲ 要望書を提出する目黒彰一只見区長(右)

を行い、早期に改良を行うとの回答でした。(※検討に際しては、地域住民との協議を行います)  
**② 国道252号道路側溝蓋掛けについて**  
 昨年度、八木沢から下筋の要望を行ったところ、八木沢地区並びに塩沢地区と蒲生地区の一部が改良されました。今年度は、未整備区間と宮淵地域を追加して要望しました。

要望の結果として、昨年度要望分については順次実施していきたいとの回答でした。宮淵地区については、今後現地確認し対応しますとの回答でした。

只見地区区長連絡会(会長・目黒彰一只見区長)では、今年度の総会で決議された次の2点について、8月19日に福島県南会津建設事務所長へ要望書を提出しました。

**【要望内容】**  
**① 常盤橋の隅切り等による安全確保対策について**  
 昨年度からの継続要望となりますが、今年度、南会津建設事務所長並びに山口土木事務所長が新任となられ、顔合わせも兼ねて再要望しました。

要望の結果として、今年度内に改良実現に向けての検討協議



▲ 常盤橋と町道交差点の状況



▲ 小野保順所長から知事賀寿を贈られる吉津さん

百歳賀寿おめでとう  
吉津秀子さん(長浜)が満百歳  
ぐさいます

8月27日、長浜の吉津秀子さんが満百歳の誕生日を迎えられ、知事賀寿贈呈式が特別養護老人ホーム只見ホームで行われました。

はじめに小野保順南会津保健福祉事務所長から知事賀寿と記念の木杯が贈られました。続いて、目黒町長、酒井右一只見町議会議務厚生常任委員長、五十嵐辰男只見町社会福祉協議会会長、関谷一只見町老人クラブ連合会長、吉津庸長浜老人クラブ会長らから記念品等が贈られました。

孫の加藤悦さんがお祝いの花束を、ひ孫の加藤桂子さんと山田龍太さんからは、記念品が手渡されました。

消火活動の基本動作を確認・習得

## 朝日地区 総合防災訓練



▲ 火点をめがけ放水する  
女性消防団員

ポンプ操作などの  
訓練を受ける消防団員

特に火点から水利が遠い場合のポンプ中継動作や伝令は重要で、南会津広域消防署の指導も受けながら詳細に訓練が行われました。最後に南会津広域消防署との連携操作について説明を受けながら、実際に放水し操作を学び訓練を終了しました。



季の郷湯ら里からの出火を想定し、8月23日に朝日地区総合防災訓練が湯ら里周辺で行われ、消防団員、ポンプ車、ポンプ積載車などが出動しました。今回の訓練は、ポンプの操作方やホースの連結、水利が近くない場合の中継動作など、様々な水利条件における放水までの基本動作を確認し、把握することを目的に行われました。参加した消防団員は、防火水槽や消火栓、排水路、池などの水利からそれぞれの状況に対応した機械器具の使用法やポンプの送水圧の調節などの動作を再確認していました。

目標は初戦突破!

## 市町村対抗野球 只見チーム始動!



▲ 只見町チームのメンバー

第3回市町村対抗福島県軟式野球大会に出場する只見町チームが「初戦突破」を目指し、練習に汗を流しています。過去2回の出場成績はいずれも初戦で惜敗。今年こそは、初戦の勝利を目標に気合いを入れ、練習に励んでいます。

メンバーは町内の野球チームから有志を募り、只見町出身の町外で活躍する選手3名を加えた27名。練習は毎週月、水曜日の午後7時から町下グラウンドで行っています。

今大会の只見町チームの初戦は10月11日、午前8時から福島市あづま球場で福島市と対戦します。

町民の皆さんの熱いご声援をお願いします。

歴史の道を歩こう

## 史道「八十里越」の踏査

八十里越踏査が8月9日に「希望と歴史の道・八十里越を歩く会」主催により行われました。参加者20名は午前4時30分に只見地区センター前に集合、そこから新潟県三条市の吉ヶ平に向い出発、午前7時過ぎに峠道を歩き始めました。60代後半から20代前半の町民の方が踏査を試みました。当日は、出発時には曇り空であつたのが、途中で雷や大雨に遭い、厳しい踏査となりました。参加者は歩きながら八十里峠や河井継之助に関する歴史などにも触れ、歴史の道の踏査を楽しみました。終了後には、反省会も行われ皆さんで感想を話しながら歴史の道について語り合いました。参加者からは来年も、6月上旬頃に行いたいとの要望が出されました。



▲ 史道「八十里越」の踏査を喜び参加者